質問順位	7	質問者	福井雅章議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. ふるさと納税専任窓口設置について	<p>1. 滝川市の魅力発信と貴重な自主財源確保を両立できる事業のふるさと納税については、当市の担当窓口が財政課であることを確認いたしました。</p> <p>他の市町村でも担当窓口はその自治体ごとに様々ですが、滝川市においては財政課特有の「繁忙期」とふるさと納税の「申請ピーク」が重なると聞き及んでおります。</p> <p>今後の業務として、多様化する返礼品に対する適正な審査や返礼品の充実を図るために市内事業者等への積極的なアプローチ活動等の実務、法改正等に対応する内規整理など多岐にわたるのではないかと推察しています。</p> <p>そこで、例えば「ふるさと納税係」のような専任窓口を新設するなどして、しっかりとした「人的投資」を行い、円滑で骨太な体制を構築すべきと考えますが、市の見解を伺います。</p>			
2. 病院行政	1. 市立病院の人材確保について	<p>1. 令和5年度厚生労働白書によりますと、看護師の確保は少子高齢化の進行に伴って現役世代が急減し、担い手が不足するなか、看護ニーズの増大に対応するべく看護職員の確保対策の強化が求められるとありました。</p> <p>また、最低賃金の見直しや職種によっては人材不足による募集給与の高騰も見られ、人材の争奪戦が顕在化しています。</p> <p>このような時勢下に看護師のみにとどまらず、市立病院全職員に対する処遇改善の観点と、将来の医療従事者不足に先手を打つ意味においても、給与の増額についての議論が喫緊の課題と考えますが、市の見解を伺います。</p>			

質問順位	7	質問者	福井雅章議員		
件名		項目	要旨	メモ	
3. 教育行政		1. 一般財団法人滝川生涯学習振興会に対する補助金について	<p>1. 現在、一般財団法人滝川生涯学習振興会に対する滝川市の立ち位置は「滝川市補助金等交付規則」に基づき申請した団体に対して、補助金を交付しているにすぎません。</p> <p>おそらく民間団体で発足した当初から、補助金申請の方式のまま現在まで継続しているように推察します。また、所管提供資料から、「様々な生涯学習活動の提供を行っている滝川生涯学習振興会に対しての人件費相当分（事務局員3名分）の補助及び「市民の学びの機会を維持していくという市の役割として人件費補助を行っている。」ことを確認しました。</p> <p>市と滝川生涯学習振興会の今後の関係性については様々な可能性が見いだせることが期待でき、次世代の滝川市と市民に対してもしっかりと継承していかなければならないと考えます。</p> <p>補助金交付の根拠等をしっかりと盛り込んだ条例や要綱などを新設し、明文化することが必要と考えますが、市の見解を伺います。</p>		